KONICA MINOLTA

適用機種：販売モデルは地域により異なります。

カラー機（CL）	C14010シリーズ、C5080シリーズ、C8100シリーズ
モノクロ機（BW）	---

オペレーションクイックガイド - No. 02 -

用紙

Ver. 01.11

目次

1 作業の前に

2 用紙をセットする

3 用紙条件を設定／登録する

4 トラブルシューティング

5 付録



1 作業の前に

1-1. 用紙をセットする際のポイント

基本操作冊に記載されている用紙セットのポイントに加えて、次のポイントをごらんになって用紙をセットしてください。

・開封面を同じにして、トレイにセットしてください。

・用紙が直角かどうか確認してください。

・用紙の実寸を金尺ではかり入力してください。

・出力時にカールする場合は、用紙セット方向を変えてみてください。

・残った用紙をトレイに入れたままにした場合、用紙状態が変わる可能性があります。

・断裁した用紙を積み重ねた状態のままにした場合、用紙が湿気を帯びてしまい用紙搬送、または仕上がりに不具合が発生する場合があります。

1-2. 給紙オプションの主な種類と仕様



MB-511
手差し



PF-712 *1
3段



PF-713 *1
3段＋スキャナ



PF-812 *1
長尺可能3段



LU-208
1段



LU-208XL
長尺可能1段



MB-509
手差し

＊ お使いの機種によって使用可能なオプションは異なります。詳しくはサービス実施店にお問い合わせください。

＊1：注意
・トレイを引出せるのは、本機の電源（主/副 両方）がONのときのみです。
・機械の転倒を防止するために、一度に引出せるトレイは1段だけです。

1-2. 給紙オプションの主な種類と仕様(続き)

用紙サイズ	定型サイズ		不定形サイズ	
	最小	最大	最小	最大
PF-712 / 713	郵政はがき	SRA3 SEF	100.0 × 139.7 mm	330.2 × 487.7 mm
PF-812	A4 SEF		100.0 × 210.0 mm	330.2 × 900.0 mm
MB-511 *1	郵政はがき		100.0 × 148.0 mm	330.2 × 487.7 mm
LU-208	B5		210.0 × 182.0 mm	330.2 × 487.7 mm
LU-208XL				330.2 × 762.0 mm
MB-509	郵政はがき		100.0 × 148.0 mm	330.2 × 487.7 mm

*1：長尺用紙を使用する場合は長尺給紙トレイユニットMK-760の装着が必要です。

用紙種類	普通紙/上質紙/カラー用紙	塗工紙	郵政はがき	インデックス紙	エンボス紙	封筒
PF-712 / 713	✓	✓	✓	✓ *1	✓ *2	✓ *1 *2
PF-812	✓	✓	×	✓ *1	✓ *2	✓ *2
MB-511	✓	✓	✓	✓	×	×
LU-208 / LU-208XL	✓	✓ *3	✓ *4	✓	✓	✓ *4
MB-509	✓	✓	✓	✓	✓	✓

*1：サイド補助ガイドの取付けが必要
*2：1連目の下段トレイのみ可
*3：防湿ヒーターHT-503 / 515が必要
*4：取付キットMK-746の装着が必要です。
*5：用紙種類の説明については、「付録」章をご覧ください。

✓：可
×：不可

1-2. 給紙オプションの主な種類と仕様(続き)

給紙容量（最大積載枚数）		最大
PF-712 / 713		上段：1,390枚（80 g/m²） 中段：1,390枚（80 g/m²） 下段：1,850枚（80 g/m²）
PF-812	～ 487.7 mm	上段：1,080枚（80 g/m²） 中段：1,080枚（80 g/m²） 下段：1,540枚（80 g/m²）
	487.8 ~ 900 mm	上段：　750枚（80 g/m²） 中段：　750枚（80 g/m²） 下段：　800枚（80 g/m²）
MB-511		250枚（80 g/m²） 1枚（塗工紙）
LU-208		2,500枚（80 g/m²）
LU-208XL	～ 487.7 mm	2,500枚（80 g/m²）
	487.8 ~ 762 mm	1,000枚（普通紙） 500枚（塗工紙 128 g/m²）
MB-509		250枚（80 g/m²） 1枚（塗工紙、エンボス紙、封筒、 351 ～　360 g/m² ）

用紙坪量		最小 *	最大 *
PF-712 / 713 *1		52 g/m²	450 g/m² 1連目の下段トレイのみ。 上段と中段トレイ：350 g/m²
PF-812 *1	～ 487.7 mm	52 g/m²	450 g/m² 1連目の下段トレイのみ。 上段と中段トレイ：350 g/m²
	487.8 ~ 900 mm	128 g/m²	300 g/m²
MB-511 / LU-208		52 g/m²	350 g/m²　*2
LU-208XL	～ 487.7 mm	52 g/m²	350 g/m²　*2
	487.8 ~ 762 mm	128 g/m²	300 g/m²
MB-509		62 g/m²	360 g/m²

* 本表の数値はオプションの仕様です。接続する本体機種により坪量は異なります。

*1：ペーパーフィーダーの各トレイに搭載されているエアー分離機能により、坪量の大きい用紙の分離が容易になります。
*2：301 ~ 350 g/m² は特定のカラー用紙銘柄限定

1-3. 本体（C5080シリーズ）の仕様

用紙サイズ	定型サイズ		不定形サイズ	
	最小	最大	最小	最大
トレイ1（上段）	B5 SEF	SRA3 SEF	139.7 × 182 mm	330.2 × 431.8 mm
トレイ2（下段）				330.2 × 487.7 mm

用紙種類	普通紙/上質紙/カラー用紙	塗工紙/エンボス紙	OHPシート	インデックス紙
	✓	✓ *1	✓ *2	✓ *3

*1：湿度50%以上の場合は防湿ヒーターの使用が前提。また、通紙は1枚ずつ。
*2：画質保証なし
*3：セット方向指定あり。片面のみ

給紙容量（最大積載枚数）	最大
トレイ1（上段）	500枚（80 g/m^2）
トレイ2（下段）	1,000枚（80 g/m^2）

用紙坪量	最小	最大
	62 g/m^2	256 g/m （217 ~ 256 g/m^{2}は タテ279.4 mm以上かつヨコ210 mm以上）

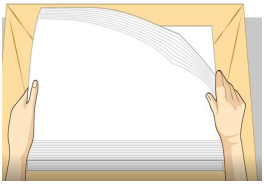
2 用紙をセットする

2-1. 基本的な手順とポイント

用紙をセットする際の手順とポイントです。詳しい手順は**2-3. 用紙のセット手順（動画）**をごらんください。

02-010 開封とさばき

用紙の開封

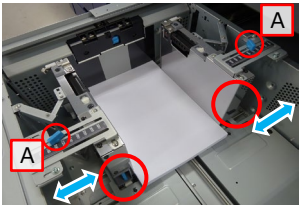


静電気などによる用紙どうしの貼り付きを防ぐために、「紙さばき」の実施をお勧めします。

1. 用紙の開封と確認
   - 開封面が用紙の「オモテ」です。
   - 折れや糊付きなど、問題のある用紙は取り除きます。
2. 紙さばきと実測
   - 用紙と用紙の間に空気を入れます。
   - 表裏見当の精度を向上させるため、実際にサイズを測ることをお勧めします。

トレイガイド板の位置合わせ

トレイのガイド板の位置を正しく合わせることで、印刷中の紙づまりや画像位置のズレを低減できます。ここではPF-712/713の給紙を例に説明します。



側面ガイド板

ツマミAをゆるめ、手前の解除レバーと奥側のガイド板の両方を持って同時に動かし、セットした用紙の幅に合わせます。

用紙と側面ガイド板の間隔が狭すぎたり、開きすぎたりしないようにしてください。

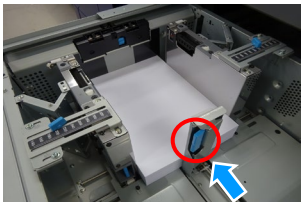


側面ガイド板の上方での間隔を調整します。

トレイ左面の**底板固定ツマミ**を操作後、トレイをセットすると底板が上方で固定されます。再びトレイを引き出し、底板が上がっている状態で側面ガイド板を用紙の幅に合わせ、ツマミAを固定します。

用紙底板上昇中はトレイを引き出さないでください。

底板固定ツマミを操作する際は、トレイを手で押さえると操作しやすいです。



後端ガイド板

解除レバーを持って動かし、用紙の後端に合わせます。

用紙と後端ガイド板の間隔が狭すぎたり、開きすぎたりしないようにしてください。

*用紙の積載量は高さ制限（▼）以下にします。

*追加で用紙を補給する場合も、紙さばきをしてください。

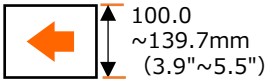
*ガイド板が狭すぎたり、紙づまりが起きたらガイド板の調整をやり直してください。

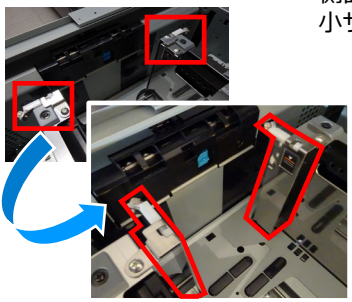
2 用紙をセットする

2-2. 特殊な用紙をセットする際の手順とポイント

本機では、以下の特殊な用紙を使用できます。詳しくは次ページの動画をごらんください。

小サイズ用紙

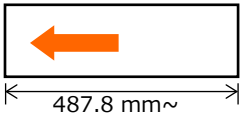




小サイズ用紙は、側面ガイド板の最小幅（139.7 mm）よりも幅の狭い用紙のことです。
側面ガイド板にある小サイズガイド（2箇所）を開くことで、小サイズ用紙をセットできます。

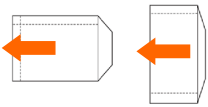
- 小サイズガイドの持ち手を持って開くときは少し力が必要です。
- 側面ガイド板を開きすぎると、用紙をセットしてから閉じるときに、底板と用紙が干渉して用紙が折れたりする場合があります。

長尺用紙



長尺用紙とは、487.8 mm以上の長さの用紙のことです。
POP、ポスターなどに使われます。
対応したオプションが必要です。

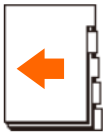
封筒



- オプションや封筒サイズによっては、専用部品の取り付けが必要です。
- お使いの製品によっては、オプションの封筒定着器が必要です。
- 印刷できるサイズはユーザーズガイドを参照してください。



インデックス紙



インデックス紙とは、耳が付いている用紙のことです。
オプションによっては、専用部品の取り付けが必要です。
インデックス部分が右側（機械後方）にくるようにセットします。

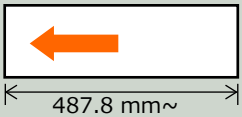
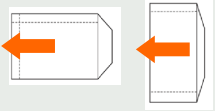
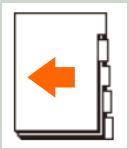
2 用紙をセットする

2-3. 用紙のセット手順（動画）

各種トレイへの用紙セット手順を動画で確認できます。
詳しくはユーザーズガイドをご覧ください。

用紙セット手順

✓：可
×：不可

用紙	本体トレイ	PF-712/713	PF-812	LU-208	LU-208XL	MB-509	MB-511
通常紙	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
小サイズ用紙  100.0~139.7mm (3.9"~5.5")	×	✓	×	×	×	×	✓ *2
長尺用紙  487.8 mm~	×	✓ *1	✓ *1	×	✓	×	×
封筒 	×	✓	✓	✓ *3	✓ *3	×	×
インデックス紙 	✓	✓ *4	✓ *4	✓	✓	✓	✓

*1: MB-511およびMK-760装着時のみ可（PF-712/812）
*2: 1連目のPFに装着時のみ可
*3: LU-208/208XLはMK-746装着時のみ可
*4: サイド補助ガイドの取り付けが必要

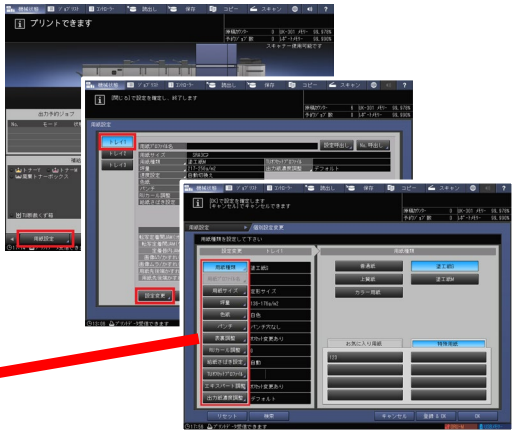
MEMO

3 用紙条件を設定／登録する

3-1. 用紙トレイへの用紙条件の設定

本機は［用紙設定］に設定した用紙条件（用紙種類や坪量など）に適した印刷条件で印刷を行います。正しい用紙条件を設定してください。

銘柄やロットによっても最適な印刷条件は異なるため、ジョブを開始する前にトレイごとに［用紙設定］の各項目を設定してください。



3-1-1. ［用紙設定］項目

項目	説明
用紙種類	一覧から選択（普通紙、塗工紙など）
用紙サイズ	一覧から選択（定形サイズ、インデックス紙）、 数値入力（不定形サイズ *1、*2）
坪量	一覧から選択（坪量、単位など）
色紙	一覧から選択（白色、その他）
パンチ	パンチ穴の有無を選択
表裏調整	両面印刷時の表裏の画像位置を調整する
RUカール調整	RU-518mによるカール調整の設定
給紙さばき設定	給紙オプションのトレイ内で用紙先端に吹き付けるエアの風量を調整する
TUオフセット プロファイル	TU-510の詳細設定(TUオフセットプロファイル)を登録する
エキスパート調整	紙づまりや画質トラブルを防止するため、転写、分離や定着などの印刷条件を細かく設定する。ただし高度な製品知識が必要 *3
出力紙濃度調整	RU-518mによる濃度調整のON / OFF

*1: 不定形サイズの用紙は、タテ、ヨコの長さを測定して入力してください。

*2: サイズや四隅の角度にバラつきがあると画像位置などに影響がでます。断裁精度の高い用紙を使用してください。

*3: 一部の紙づまりや画質トラブルに対し、エキスパート調整が容易に実施できる「かんたん設定」が用意されています。紙づまりについては本冊4章トラブルシュートを、画質トラブルについては「画質調整」冊をご覧ください。

3-1-2. ［用紙設定］を設定する

例として、以下の項目の設定手順を動画で説明します。

［用紙種類］、［用紙サイズ］、［坪量］

02-301 ［用紙設定］を設定する

3 用紙条件を設定／登録する

3-1-2. ［用紙設定］を設定する（つづき）

- ［用紙種類］や［坪量］が不明な場合は、メディアセンサーを用いた［用紙測定］が便利です。
- メディアセンサーについて詳しくは「オペレーションクイックガイドNo. 13」をご覧ください。

3-2. 用紙プロファイルについて

- ［用紙設定］各項目を用紙ごとに登録したものが用紙プロファイルです。
- 同じ銘柄の用紙を頻繁に使用する場合、登録済みの用紙プロファイルを呼出せば、毎回［用紙設定］する手間が省けます。
- 最大500件まで登録できます。
- 使用頻度の高い用紙の用紙プロファイルがプリインストールされています。



参考

■: 推奨紙　■: 確認紙（評価済み）　■: 一般用紙（種類×坪量）／ユーザー作成

3-2-1. ［用紙設定］に用紙プロファイルを呼出して設定する

- 動画で説明します。

02-311 用紙プロファイルを呼出して設定する



3-2-2. 用紙プロファイルを登録/編集する

- ［用紙設定］の項目を用紙プロファイルとして新規登録できます。
- 用紙プロファイルを編集して上書き保存または新規登録できます。

02-321 用紙プロファイルを登録/編集する

参考

用紙プロファイルの登録／編集は、以下の画面からも可能です。

- ［機械状態］＞［用紙条件登録/削除］
- ［設定メニュー/カウンター］＞［ユーザー設定］＞［環境設定］＞［給紙トレイ設定］＞［用紙設定］＞［用紙プロファイル設定］
- ［コピー］＞［用紙設定］

3-2-3. 用紙プロファイルの管理

- プリインストールされた用紙プロファイルを、専用のフォルダからお客様が利用可能なフォルダにコピーします。
- 同機種間でUSBメモリーを用いて用紙プロファイルのインポート／エクスポートができます。

02-331 用紙プロファイルの管理

4 トラブルシューティング

4-1. 紙づまり

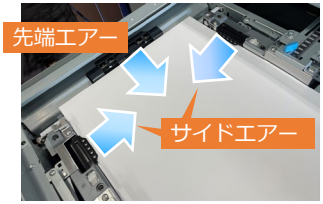
ここでは、紙づまりを解消する機能について説明します。

給紙のトラブルシューティング

1. エアーブロー機能を使う（給紙）

用紙の種類や坪量によっては、給紙がうまくできずに紙づまりを起こすことがあります。
エアーブロー機能は、用紙に空気を吹き付けることで重送や紙づまりを改善します。給紙トレイごとに設定できます。

対象の給紙トレイ：PF-712/713/812、 LU-208/208XL





エアーブローの調整方法：
デフォルトでは、給紙さばき設定は[自動]に設定されています。
調整する場合は、[手動]に設定してください。

現象 / 設定	未吸着	ノーフィード	用紙先端座屈	連れ送り/重なった用紙の1枚目の先端が2枚目の先端より下流にある	重なった用紙先端が揃っている	重なった用紙1枚目の先端が2枚目より上流にある
先端風量設定		弱	弱	弱*2		弱
サイド風量設定	強			弱	強	
先端エアー動作モード					分離優先*3	
サイドエアー動作モード	浮上優先*1				浮上優先*3	

*1:改善しないときに設定。且つ奥側のサイドガイドエアー開口部固定レバーを左にスライドさせる

*2:改善しないときに設定。用紙幅が139.7mm以上の場合は前側/奥側両方のサイドガイドのサイドエアー開口部固定レバーを左にスライドさせる

*3:改善しないときに設定

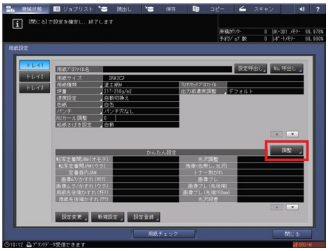


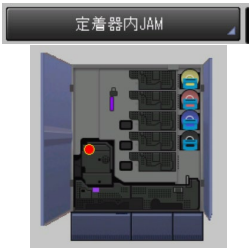
トレイ内の用紙挙動は、トレイの確認窓から確認できます。

4 トラブルシューティング

2. かんたん設定を使う

定着器への進入直前（主に薄紙）や定着器内で発生した紙づまりを改善できます。





3. 用紙のカール補正機能を使う（定着直後）

定着の熱によって丸まってしまった用紙をまっすぐ伸ばすことで、紙づまりや後処理時の用紙のズレを防ぎます。

給紙トレイごとに異なる用紙がセットされている場合でも、それぞれの用紙の特性に応じた補正ができます。

前提条件：RU-518mが装着されていること。



下向きカールを補正



上向きカールを補正



5 付録

1章で記載している用紙の坪量、不定形サイズの換算表です。
参考にしてください。

Paper weight	
g/m²	lb
52 g/m²	14 lb Bond
62 g/m²	16 lb Bond
80 g/m²	21 lb Bond
128 g/m²	34 lb Bond
300 g/m²	81 lb Bond
350 g/m²	93 lb Bond
450 g/m²	119 lb Bond

Custom paper size	
mm	inch
100.0 × 139.7	3.94″ × 5.5″
100.0 × 148.0	3.94″ × 5.83″
210.0 × 182.0	8.27″ × 7.17″
210.0 × 210.0	8.27″ × 8.27″
330.2 × 487.7	13″ × 19.2″
330.2 × 762.0	13″ × 30″
330.2 × 900.0	13″ × 35.43″

本機で設定できる用紙種類についての説明です。

用紙種類	内容
普通紙	複写機やプリンターで用いられる印刷用紙です。モノクロ印刷をするときに使用します。
上質紙	オフセット印刷で一般的に使用されている非塗工紙印刷用紙です。白色度が高く、さまざまな用途に用いられます。
カラー用紙	上質紙でもカラーがくすまないように作られたカラー印刷用の用紙です。
封筒	封筒です。フィルム素材の窓が付いた封筒やフラップに両面テープや剥離紙が付いた封筒は使用できません。
エンボス紙	表面に浮き出しや型押しなどの方法を用いて凹凸を付けた用紙です。
塗工紙G	塗工紙の光沢紙（Coated-G）です。表面に光沢があり、写真や画像の色味を再現したいときに使用します。
塗工紙M	塗工紙のマット紙（Coated-M）です。光沢が抑えられ、文字が読みやすいため、画像と文字が同じページに並ぶときなどに使用します。

トレイにセットされた用紙と設定した用紙種類が異なる場合、以下のようなプリント不良が起きることがあります。正しい用紙種類を選択してください。

- 画像がブレる
- 画像がかすれる
- 印刷された用紙からトナーが剥がれる

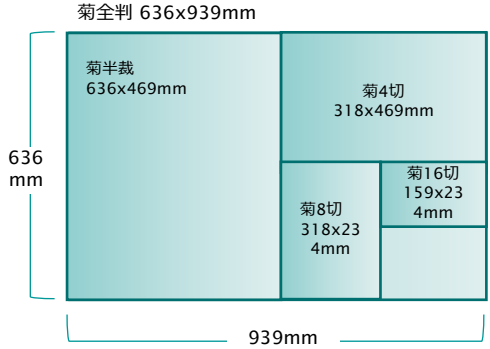
5 付録

菊判、四六判について

菊判とは：
菊判（原紙サイズ：636mm×939mm）は新聞用紙に使用する目的で、日本がアメリカから輸入した紙のサイズです。当初は新聞用紙のみに使用するつもりでしたが、後に他の出版物にも使用されるようになりました。

「菊判」という名前の由来は、輸入紙の商標にダリアの花が使用されており、菊の花に似ていたことによるといわれています。

菊判の目的として、Aサイズより一回り大きいので、A系のフルブリード印刷をする際などにも使用します。



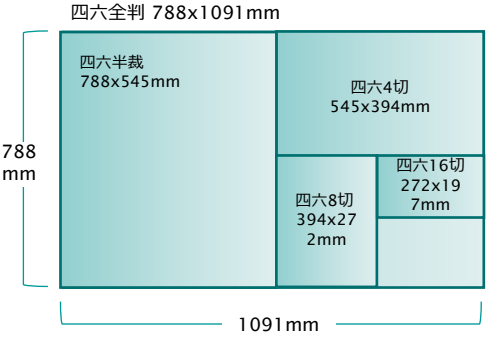




四六判とは：
明治時代にイギリスから輸入された四六判（原紙サイズ：788mm×1,091mm）は、イギリスの紙の規格である「クラウン判」が元になっています。

出版物によく使用される「4寸×6寸」サイズが取りやすかったため四六判と呼ばれるようになりました。

四六判の目的として、Bサイズより一回り大きいので、B系のフルブリード印刷をする際などにも使用します。



MEMO

© 2025 KONICA MINOLTA, INC.